

会 議 の 概 要

会議名	令和４年度 宝塚市食育推進会議 第４回 会議
開催日時	令和５年（２０２３年）２月９日（木）午後２時～午後３時３０分
開催場所	宝塚市立中央公民館 １階ホール
出席委員	（会場参加） 佐々木委員、藤永委員、松岡委員、安藤委員、細川委員、岡橋委員、 田中委員、 中西委員、酒井委員、石井委員、林委員 （１１名） （Ｗｅｂ参加） 八幡委員 （１名）
欠席委員	前田委員、日野尾委員、伊丹委員、今下委員、朝野委員 （５名）
傍聴者数	なし
公開の可否	公開
１ 開会 ２ 議題 （１）第３次たからづか食育推進計画（案）に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見の取扱いについて ア 資料１ No.１～No.２２の計画（案）に対する意見や見直し結果について イ 資料１ No.２３～No.３４の概要版（案）に対する意見や見直し結果について （２）資料２ パブリック・コメント以外での修正に対する説明 ３ 連絡事項 今後の予定について 令和５年度第１回宝塚市食育推進会議は、９月を予定 ４ 答申 ５ 閉会	

(1) 第3次たからづか食育推進計画（案）について

会 長 議題（1）第3次たからづか食育推進計画（案）に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見の取扱いについて、令和4年12月12日（月）から令和5年1月13日（金）まで実施しました、第3次たからづか食育推進計画（案）に対する意見募集でどのような意見が寄せられたのか、またそれに対する市の考え方について、事務局より説明があります。まず、資料1のNo1～No22の計画案に対する意見や見直し結果についての説明をお願いします。

事務局より説明

<質疑応答>

会 長 No.1からNo.22までのパブリック・コメントの回答についてご意見をお願いします。

委 員 No.20の市の回答に、原材料表示で都道府県等の表示義務は無いと書かれていたところが気になりました。消費者庁の食品表示ガイドを読むと、国産である場合は都道府県その他一般的に知られている地名で書く事は可能と書かれており、必ずしも都道府県等の表示義務は無いという表現に少し違和感がありました。

消費者庁が言うように宝塚市産という表示もOKであるので、これからは飲食店で宝塚の農産物を応援するとか、市から方針の提案があればいいと思いました。

会 長 ありがとうございます。

事務局 担当課に確認したところ、消費者庁は加工食品に都道府県産等の表示を求めている中で、宝塚市の政策として表示義務を作ることは難しく、表示をしてくださいと強くも言えませんが、宝塚産や兵庫県産であることを販促ポップ等の活用でPRする等、別の形で応援していくとのことでした。
また、地産地消を推進するためには、表示をしている、していないにかかわらず、宝塚産の全てのものをPRしていきたいと考えています。

会 長 ただいまの説明でよろしいでしょうか。

委 員 行政が表示義務を課すことや指導を行うことはできないと思いますが、目的は別として、宝塚市の地域振興やイベント等で使うような取組を推していくことはできると思います。

先ほどの話は、そのような取組をした方が良いのではないかという意見だと思います。地産地消を盛り上げていくイベントなどにシールを貼ったり、表示をしている業者と協力したりサポートをしたり推奨していくようなやり方はできると思います。

会 長 他にご意見はありませんか。

委 員 宝塚産と表示するメリットが有る、無いなどについて、農業をされている委員の方はどのように考えているのですか。

- 委員 私が作っているものは全て宝塚市産の表示をして飲食等の場所に置かせてもらっています。本来は兵庫県産までの記入でよいのですが、あえて宝塚市産などの表示をして出荷をしています。購入場所が違うせいだと思いますが、このような声が聞えるのは調べていないからだと思います。調べればほとんどのものは表示をしています。店舗は宝塚市だけでなく伊丹市にもあります。
- 委員 知っている人は買いに行っていると思いますが、一般のスーパー等では数に限りがありますし、置かせてもらえる、もらえないもあると思います。朝市等の限られた地区での販売になっているので、消費者目線的にはもう少し市がサポートをして場所を増やす取組があれば盛り上がるのではないかと思います。
- 委員 置きたい店舗は他にもあると思いますし、J Aとの兼ね合いもありますし、そのスペースを維持するためには結構な量が必要となります。それを西谷等の宝塚市内の農家だけでは補えません。物量がなければJ Aも声かけられないという悪循環に陥っています。
- 委員 そうですね、広げるとなると安定的に出荷するという問題が出てきますよね。
- 委員 昔、直接J Aに話しをして、最初は我々が出荷をし、その後は人に任せたことがあるのですが、力不足で全てなくなっていつています。結局は一人ひとりのやる気だと思います。
- 委員 J A頼みだけだとか西谷産だけだとかではなく、仕組みづくりだと思います。一人ひとりの努力だけではなく、横のつながりや、提案を出しそれを吸い上げていく仕組みがあり、それをできるだけ安定化させ、しっかりと収益損を含めて行っていくことで、徐々に地域の盛り上がりになっていくと思います。
- 委員 お店によっては、地産地消をやっていることや西谷産野菜の販売していることをのぼりの設置などで見てわかるような売り方をしています。欲しいと思う人はいると思いますが、見つけられなかったり、無いと思ったりしてしまうのではなく、思いを声や形にすればよいと思います。消費者も「西谷産と表示してくれませんか」等、消費者としてお店に声をあげることも応援になっていきますし、求められたら作ろうという気持ちも芽生え、少し違ってくるのではないかと思います。消費者としてもできることをやるということも大事だと思います。

資料1 No. 23～No. 34 の概要版（案）に対する意見や見直し結果について

事務局より説明

<質疑応答>

会長 No23～No34 までのパブリック・コメントの回答についてご意見をお願いします。

委員 No26 で、汁物に関する説明で、「残すと排水（環境面）やもったいないという面などから少し抵抗があります」に対するコメントとして、無駄にたく

さん作って残せというわけではないのですが、もちろん食品ロスの観点から作りすぎないとか、流すときの工夫、基本的にはラーメンの汁を排水管に流しても、今はそのまま川に流すということもなく下水処理場で微生物を使って分解されてきれいな水として処理をしていると思いますので、市としての環境側からのコメントも追加してあげた方が、全体的な理解に繋がっていくのかなと思いました。食育の内容とは違いますが「流すのは嫌だから飲み干してしまおう」とも読めるので、市としての回答には触れた方が良いかなと思います。

会 長 今のご意見に関しましては、事務局で対応をお願いします。

委 員 減塩の工夫で、野菜はカリウムなどをたくさん含むので体外に排出されます。という一言をいれても良いと思います。

事務局 野菜も生野菜でしたら塩分は気にならないので、野菜でカリウムを摂るという内容は良いと思うのですが、煮物等を摂り過ぎると塩分の摂り過ぎになるので、そこが気になります。どのように書かせていただくのが良いか教えていただけますでしょうか。

委 員 いろいろ表現も難しいかなと思いました。

委 員 私も塩分のところが気になっていろいろと言っているのですが、塩分に関する知識が多く、紙面のバランス的にどうなのかなと思っています。なぜ減塩をしなければならないのかを書いていないのもバランスが悪いように思います。

会 長 ただいまの意見に対していかがでしょうか。
例えば、「塩分を摂り過ぎるとこんなリスクがあります」とか、「汁物も具だくさんにするとカリウムをたくさん摂ることができるので、同時に塩分も入ってきますが排泄効果がありますので、具が少ないものより具だくさんの方が良いですよ」という表現の仕方も有りと思います。

事務局 カリウムを摂取する事で塩分は排泄されるとは言われていますが、カリウムを摂ると塩分が全て排出されるという認識になるのではないかと栄養士として気になります。概要版は栄養士がついて説明をするわけではないので、間違いやすい表現は書きたくないという思いがあります。

会 長 これも含めまして何かご意見ありますでしょうか

委 員 概要版の8ページの栄養成分表示では、たんぱく質・脂質・炭水化物・食塩とあります。脂質や炭水化物にも2次元コードがあればよいと思います。塩分にクローズアップしていますが、糖尿病や糖分の摂りすぎ、糖分でも未精製の糖と精製している糖とでは完全に分けて考えなければいけないのと思っています。体に良いと勧められている某ドリンクに入っている炭水化物には、実際は大量の砂糖が入っています。市民に、「炭水化物とは実際には精製している糖です」「歯科的・医科的なところで考えると、虫歯・糖尿病の抑制ができます」と入れたり、「ジュースにはたくさんの砂糖が入っています」、「ステックシュガー〇本分も入っています」と言ったりした方が分か

りやすいと思います。

塩分の表記ばかりを言われていますが、壮年期の太りすぎに塩分は関係ありません。私は塩分よりも糖分にクローズアップする方が子どもの食育にも良いと思います。実際に糖分がどれくらい入っているか分からない人が多いと思います。本当に状態の悪い時のエネルギー補給には良いのかもしれませんが、塩分に限らずそのようなところをわかりやすく提案するのも方法だと思います。

事務局 糖質も塩分も大事なことだと思いますが、元々この概要版は、計画で掲げている 14 項目の目標（資料 4 の 2 ページ）を達成する為に作っています。塩分や糖質のことを書きすぎるとポイントがずれてしまうのではないかと思います。意見をお聞きして、バランス良く食べましょうといいながら塩分のことを書きすぎているように感じました。「バランス良く食べる時には塩分の摂り過ぎにも気を付けましょう」といった内容にして、概要版をお配りする時に、関係団体にも啓発をしていただこうと思っているのですが、その際に塩分や糖分の補足説明をしていただき、概要版には目標としているところをポイントにする方が良いように思いました。

委員 塩分のことだけをここに追加して修正しようとしているのだと思いますが、それを入れることで「なぜ塩分だけなのか」という意見が出ると思います。概要版には、塩分にしても脂質や糖質にしても、過剰に摂った時の体への影響が出てくるということを示し、どのような問題があってどのような取組をすればよいのかといった詳細を Web 上にあげて二次元コードを貼り付けると、塩分のことだけを強調して書く必要がなくなると思います。Web 上であれば字数制限もなく、宝塚市の取組として様々なことを示すことができると思います。ネットの利点を利用して情報を広げられたら良いと思います。そうすることで概要版もスッキリとして市民の意見にも誠実に答えられると思います。

会長 ありがとうございます。とても良い意見を頂けたと思います。

委員 コンテンツ作りは大変かもしれませんが、塩分にしても、糖質にしてもいろいろな所で作られた情報があると思います。栄養士的な目で幅広く情報をピックアップし示していただければ良いのではないかと思います。

委員 紐づけて解説するのは凄く良いが、事務局は大変だなと思いました。炭水化物はほとんどが糖質と食物繊維という説明や解説を入れても良いと思います。

委員 概要版はそれほどいじらなくても良いと思います。塩分だけを入れるというより、とりあえず塩分だけのコンテンツを作りましたでも良いと思いますし、いきなり食事、健康に関する情報のファイナルを作らなくても、継続して公表し更新しますということで科学的に根拠のあるものを入れていくのが一番誠実な形だと思います。

委員 資料 4 の 4 ページの「作る時、食べる時、上手に減塩するための工夫の仕方」の所にスペースがあるので、塩分や糖質等の摂りすぎの事を二次元バーコー

ドで3つぐらい作られたらと思います。気になって塩分ばかり言っていたのですが、塩分ばかりになってバランスが悪いなと思ったので、このスペースを有効利用できると思いました。

会 長 ほかにご意見はありますか。

委 員 意見提出者が7名で提出意見が34名というのは、7人の方が34件の意見を出したという事ですよね。7人という数は、正直、私は少ないと思っています。7人からいただいた意見だけのことを考えて私たちが会議をするのは、ものすごく小さいことのように思うし、おかしいことだと思います。それはありえないなと思いました。宝塚市民の人数から考えると少ないですが、最低でも10倍ぐらいの意見は欲しいと思います。どのようにすれば市民に意見を書いていただけるかを、この場を借りてでもよいですし、皆さんで考えられたらと思います。まず事務局の方はどのように考えているか知りたいです。

事務局 パブリック・コメントで7名の方から意見をいただいたことに関して多いか少ないかと言われれば、宝塚市の人口から考えると少ないと思います。今までもいろいろな計画がありご意見をいただいているのですが、ご意見をいただくことが難しく、いただけにくい事が現状にあります。反対にこちらからご質問して恐縮ではございますが。どうやったらご意見いただけるか皆様の立場からご提案いただけたらと思います。

委 員 この計画書を読むよりも、映像を流し誰かが説明をするのであれば、聞くだけでも頭の中に入るのかなと思います。例えば、1時間程度、小学校・中学校の授業で軽く説明を行い子ども達の意見をもらう、教員に意見をもらう等、市内であればそのような形でやってもいいのかなと思いました。

委 員 私がよく見るTwitterの話ですが、筑波の気象庁気象研究所の通称アラケンさん（荒木 健太郎）が、子どもも見る雲の本などを出版する時、出版前にゲラを公表してメールやSNSで意見を募っています。意見を送った人はその本の最後のページに名前が載せられています（何百人も）。まだ概要版は読みやすいと思いますが次のことを考えると、概要版を広くSNSで発信して、「食育の気持ち分かるかな」と意見をもらったら、意見も出しやすいのかなと思いました。

委 員 行政が計画（案）を出すときの仕組みは、意見を求め、出した後に市民に周知をし、次の計画に反映するものだと思います。行政が文章をだすときの仕組みとして行わなければならないものであって、基本的に、パブリック・コメントに意見する場合は、ネガティブな意見をもっている人のコメントが出てきて、賛同する人はコメントをされないものだと思います。広く意見を集約していく場合は、この場ではないと思います。よほど関心をもっている人でネガティブな意見をもっている人しか出てこないと思います。パブリック・コメントがどのくらい有用なものかを見るのであれば、このサイトを見ている人の数をカウントし、反対にその中でネガティブな人がこれくらいの人数しかいなかったという評価になると思います。何とも思っていない人や良いなあと思っている人はコメントをしないと思いますので、アカウント数やダ

ウンロード数を見て評価をしても良いのではないか、そこができてから、小学校等で周知を行い次の計画を立てて行けば良いと思いました。

会 長 今後のやり方については皆様からご意見いただいて改善していく必要があるかなと思います。

資料2 パブリック・コメント以外での修正に対する説明

事務局より説明

<質疑応答>

会 長 終了の時間になりました。今皆様から頂きましたご意見に関する修正案は会長（私の）一任とさせていただきますがよろしいでしょうか。

委 員 はい（承諾）

会 長 これを持ちまして「第3次たからづか食育推進計画（案）」の審議は終了します。来年度から、委員の皆様の協力を得て、「第3次たからづか食育推進計画」に基づき、食育を推進していくこととなりますので、よろしくお願いします。